

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス ヒトツナ総社中央教室			公表日	2026年 3月 18日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		基準を満たした広さは確保しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		基準を満たした広さは確保しております。	基準を満たした配置ではあるが、曜日による利用児数のばらつきや、それぞれの発達特性に違いがあるため、それに応じた人員の確保に努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	学習スペースとプレイルームは別室としそれぞれのスペースが集中できる環境設定にしている。	プレイルームでの年齢・特性などを考慮しながら状況に合わせた玩具の提供を工夫する必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		子どもたちが過ごしやすいような環境設定に努めています。掃除、消毒を毎日行い、衛生面に配慮しています。	細かい場所の清掃に関しては週1や長期休み前に徹底して衛生面の清掃に心がけるように強化する。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		必要に応じて、クールダウン室や学習スペースを開放するなどの臨機応変に配慮している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		定期的なミーティングや委員会の開催や日々の情報共有を行い、職員間で統一した支援が行えるようにしています。	今後も継続してミーティングが行えるよう努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		定期的にミーティングを開催しております。その中で出た意見やアイデアをもとに業務改善につなげております	今後も継続してミーティングが行えるよう努めます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		運営指導等で今後指導を受けた場合は改善してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		研修を月1・2回は行い職員のスキルアップに努めております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		月毎に季節感を取り入れながら支援プログラムを作成し、Instagramにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		個々の日々の様子や定期面談から保護者のニーズを聞き取り、個々の課題を明確にしたうえで作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員も送迎時には保護者とのコミュニケーションを取り信頼関係を築いたり、保護者からのニーズを職員間で共有し、支援内容等の検討を行っております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		共有された計画に沿って支援するように心がけております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		発達検査を受けた結果を提出いただいたり、保育園や幼稚園等の面談内容を共有いただき、支援につなげています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインのねらい及び支援内容を踏まえ、個々に必要な項目設定と具体的な支援内容を設定しています。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		週ごとに5領域が偏らないよう工夫しながら立案している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		週ごとに活動プログラムを作成し、担当と役割を設定しています。季節感が感じられるよう、固定化しない工夫をしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別療育は個々の発達や保護者のニーズに合わせて計画・実施し集団活動として週替わりでプログラムを組んで支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎朝個別療育の内容の確認を行い個々の計画に沿った支援をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		個別療育に関してはその都度報告を行い、小集団活動に関しては週1回の会議で振り返りを行い、反省や気づきを共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		振り返りを行い、職員間で確認をしあうようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		日々の振り返りとともに、保護者向けのサービス提供記録をもとに支援を振り返り、改善に努めています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5		基本的活動を組み合わせながら支援を行っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		自由遊び等で自分で遊びを見つけ展開できるよう自己決定を見守っている	自由遊びや支援者が介入しながら、必要な支援や配慮について細かいな部分の共有をもっと図るようにする。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		関係機関、担当者情報共有し、必要に応じて支援を行う体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		情報共有や相互理解に努めております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		研修会や情報交換会に積極的に参加し、情報共有や助言をいただける機会をつくっております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		長時間利用時には地域の児童館に出向き交流やイベントに参加しています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		活動記録や送迎の際の対面時報告し共通理解を持っています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		保護者からの相談があれば時間を設けて個別に行っております。		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に読み合わせを行い、丁寧に説明するように心がけている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者より送迎時やHUGの連絡帳を通じて相談を受けた場合は、個別に時間を設けて対応しております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		保護者会や保護者同士の交流が持てる場の開催を考えております。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報が含まれる書類の管理につきましては細心の注意を払っております。また書類は鍵付き書庫にて保管しております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5				
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルを策定し職員に周知しております。毎月火災または地震を想定した避難訓練を実施し、保護者様にお知らせしております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		業務継続計画を策定し、職員に周知し、必要な訓練を実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		現時点では該当する利用児はいませんが、書面での書類の提出をお願いするとともに事業所内で情報共有をしております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		保護者様からの聞き取りをし、必要に応じて医師の指示書の提出をお願いしています。また、情報は事業所内で共有しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画に基づき、安全管理に努めています	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		発達段階に合わせた安全指導が行えるよう、配慮しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリ・ハットが起きた際は即座に記録に残し、再発防止や原因について会議で話し合い、今後の再発対策に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止に関する職員の研修を年1回実施し、適切な対応を心掛けています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束に至る場面は現時点ではないが、やむを得ず行われる場合に対し職員同士の子供たちの命の大切さを重視する共通理解を持つようになっている。	